

無人島文化祭で「猿島」を活性化せよ！



↑猿島で行われた無人島文化祭のオープニングセレモニー

←馬堀中学校の屋上から猿島を望む



神奈川県／横須賀市立馬堀中学校

校舎の屋上から見える小さな無人島は、航路もあり遊歩道も整備されているのに、訪れる人が少ない。そこで、中学1年生たちが地域の人たちと協力し、島を活性化させようと無人島文化祭に取り組んだ。

自然環境に恵まれ落ち着いた校風

本校は三浦半島の東方、ペリー来航の地として有名な浦賀の近くに位置し、春は桜の花、夏は深い緑、秋は紅葉に囲まれ、冬の晴れた日には屋上から雪をいただいた丹沢の山々や富士山を遠望できる風光明媚な環境である。また、校庭の一角には地下水が湧き出しており、夏の夜にはホタル狩りも楽しめるという自然環境に恵まれた本校は、生徒数331名の中規模校で、穏やかで素直な子が多く、比較的落ち着いた校風である。

「人となれ（人は生まれただけで人になるのではなく、たくさんのかつを「学び」力をつけなくては、「人となれ」ない）」を学校目標に掲げ、「人間性豊かなこども」の確立を目指している。

キャリア教育の一環として

本校の生徒は、現代の生徒によく見られるように、実際の体験や経験が不足しがちで、物事を上辺だけで捉え、理解したような気になっている傾向がある。そのようななか、キャリア教育によって、実体験を通して「生きる力」の育成を図って2年が経とうとしている。キャリア教育は1年次の『フロンティア猿島ミッシェン』、2年次の5日間にわたる『職業体験』、3年次の『ふれあい体験学習』

(修学旅行)へと段階的に進んでいる。また、よこすかキャリア教育推進事業(横須賀市・市教育委員会・横須賀商工会議所)の推進校として、「コミュニケーションの力」・「考える力」・「見通す力」・「決断する力」・「続ける力」の育成を図っている。

入学して間もない1年生は、「自分再発見」や「仕事と社会の仕組みを知ろう」などの学習を経て、猿島航路を運営する㈱トライアングルの専務取締役をMTT(マイ・タウン・ティーチャー)勤く人はみんな子どもたちの先生」に迎え、横須賀市という自分たちが生活する「まち」の社会的な課題の1つ——つまり、中学生が地域の活性化を構想する一助として、『もっとたくさんのお客さまに猿島を訪れてもらうには?』という課題追求に1年間取り組んだ。

「猿島ミッション」への取り組み

猿島は本校からその姿を望むことができる。周囲1・6kmの小さな島で、幕末から戦前にかけて、東京湾の首都防衛拠点として利用されたが、現在は無人島で、湾内唯一の自然島である。1995年に市が旧大蔵省より管理委託を受け散策路などを整備、航路も再開し、2003年に市が国から無償譲与を受けた。

その猿島に多くの観光客を誘致するためのいい方法はないか? 本校、よこすかキャリア推進事業事務局、MTTである㈱トライアングルの3者による検討を経て、「猿島を舞台にしたイベントを企画してみよう!」ということになった。この「猿島ミッション」は、

㈱トライアングルの社員たちがMTTとして生徒たちの企画をヘルプ



グループごとに練り上げた企画をクラスで発表



猿島で文化祭を行うことが決定し、集会でミッションを受ける

企画からイベントの実行の手伝いまでを中学1年生が行うという、総合的な学習の時間の取り組みである。

まず、MTTにより「猿島の魅力と中学生に募るアイデア」という題で課題提起をしていただいた。1年生たちは猿島の魅力を再確認しながら、このミッションの課題と方法を理解した。次に、1年生112人が38チームに分かれ、それぞれのチームが事務局・MTTと相談しながら企画を立案し、お互いに報告し合い、その後の取り組みの参考とした。自分たちの企画を互いに評価し、学級代表のチームを選出し、学年発表会へと続いた。

ユニークなイベントが競い合う

これらの発表を受けて、「文化祭形式」でイベントを行うこととなった。生徒たちの立案によるイベントは、次の通りである。

A 開会式

「無人島文化祭」のオープニングセレモニー。猿島ミッションのプロセスで商品化された「猿島チップス」の発表と試食会、「エコアイランド猿島宣言」など。

※猿島チップスは、生徒が立案した商品で、神奈川の名産100選に選ばれている肉厚で柔らかな「猿島わかめ」を使用したチップス。立案した生徒は、実際にわかめ漁を体験した。平成22年度「横須賀みやげコンテスト」で銀賞を受賞。

B バナナの皮を拾え

サルが島中に散らばめたバナナの皮を拾い集める島内スタンプラリー形式のイベント。



イベントの最優秀賞に輝いた「バナナの皮を拾え」の参加受付ブース



文化祭当日、まずは会場の設営から



会場の準備も盛り最後の打ち合わせ。みな、緊張気味



横須賀みやげコンテストで銀賞を受賞した「猿島チップス」の試食コーナー



おそろいのスタッフジャンパーを着て勢ぞろいした会場設営係の面々

参加者に島の魅力を体感してもらうことが目的で、このイベントを企画したチームは最優秀賞に輝いた。

C 猿島 釣って焼いて食べまくり

釣り体験や漁業組合と共同で行う地引網で捕れた魚を、そのままバーベキューでいただくイベント。

D 無人島フェスティバル

島内に屋台を設置し、お祭り気分です島を盛り上げる。屋台では、焼きそば・たこ焼きなどのほか、横須賀でとれた農産物や水産物を販売する。

E 無人島ライブ

横須賀出身のアーティストを招いて島内でライブを実施。

猿島ミッションが育てたもの

昨年の4月3日(土)、4日(日)の両日、「無人島文化祭」は天候にも恵まれ、多くのお客さんが島を訪れ、成功裡に終わった。そのようすはいくつかの新聞で報じられ、テレビでもニュースとして報道された。本年度の1年生も猿島ミッションに取り組み、3月19日(土)、20日(日)に同様の行事を実施する予定である。

これらの取り組みによって、生徒たちの学習に対する関心・意欲は次第に高まってきている。この取り組みが成果を残している背景には、キャリア教育推進事業事務局、MTTの方々の教育力がある。生徒がミッションに取り組むという方法を取ったことで、一人ひとり、チーム、学級、学年に自主的・積極的な学習姿勢が育っている。

開会式。色とりどりの風船が横須賀の空に舞い上がる



趣向を凝らしたイベントが楽しめるフェスティバル会場



「バナナの皮を拾え」も大うけ



横須賀でとれた魚も大好評



無人島文化祭で
「猿島」を
活性化せよ!

横須賀市立馬堀中学校
(鈴木安則校長/
生徒数: 331名)
〒239-0802
神奈川県横須賀市
馬堀町4-10-2
Tel. 046-841-4007
Fax. 046-841-4006
(E-Mail)
admini@mabori-
j.yknet.ed.jp
(URL)
<http://schoolnet.yknet.ed.jp/schoolnet/juniorhigh/213mabori/index.html>



猿島をバックに、記念撮影。みんないい笑顔だね!